

【保護者：アプリ配信】 【地域：回覧配付】



# 学校便り

佐渡市立金井小学校 令和6年9月30日 第6号

ホームページ <http://kanai-es.sado.ed.jp> E mail : kanai-es@sado.ed.jp

## 「佐渡島の金山 世界文化遺産登録」おめでとうございます

校長 藤井 衛

佐渡市民、新潟県民、日本国民が楽しみにしていた吉報がようやく届きました。「佐渡島の金山 世界文化遺産登録」おめでとうございます。

2学期の始業式で、子どもたちにも話しました。ふるさと佐渡に自慢できるものが増えたことをよろこぶ子どもたちの笑顔が印象的でした。

徳川幕府が開かれたころに発見された佐渡島の金山。江戸時代が長く続いた要因の一つです。この後、日本は鎖国政策をとりました。そのため、佐渡島の金山から産出された金は日本国内で使われていました。

このころの日本は世界の中でも金をたくさん持っていた国でした。ところが開国後、日本の金が大量に外国に流出してしまう出来事がありました。社会科で学習した「金銀比価問題（きんぎんひかもんだい）」です。日本では銀貨5枚で金貨1枚と交換できたころ、外国では金貨1枚手に入れるのに銀貨が15枚も必要だったのです。外国商人がこんなお得な情報を見逃すわけがありません。金銀比価の違いに気が付いた外国商人は日本で金と銀を交換し大量の金が日本から流出していきました。佐渡産の金も大量に流出してしまいました。なんともったいないことでしょう。日本人が情報を知っていれば損しなくてすんだのに。「金銀比価問題」を学んだとき、残念な気持ちになったことを思い出しました。

今でも金の価値は上がり続けています。佐渡島の金山から産出された金の価値は相当なものだと想像できます。世界遺産に登録されたことで、再び注目を集め、世界中の人が佐渡を訪れてくれることでしょう。失ってしまった金の価値を取り戻すぐらい、潤ってもらいたいものです。

